

Now

今やろうとしていること

- ・教員が主体的にプロジェクト・チームを結成し、企画・運営を行うことで、学校にある様々な問題を効率よく解決する。そしてその姿を生徒達に示す。
- ・附属3校（附属小・附属中・附属特別支援）が集まり、それぞれの特性を活かした合同研修会を行う。
- ・教師どうしの関わりを多くするために校内公開授業を100回達成する。
- ・学生さんいっしょい（学生向け公開授業）で教員志望の学生に協議の機会を提供する。
- ・国際理解教育のさらなる発展。タイ（カセサート）アメリカ（ロンクラークアカデミー）来校に向けた取り組み。

Past

昨年の成果

- ・年1回の研究会をやめ、かわりに公開研修を4回行った。
- ・校内公開授業を80回行い、研修を重ねた。
- ・研修を企画するためのPAHモデルをもとに4つの研修グループが研修を企画・運営をおこなった。
- ・4つの研修グループの成果をまとめた冊子「とりわけ2019」を刊行した。

- ・生徒自らが問題に気づき、それを仲間とともに解決していく授業づくり



- ・iPadを活用した思考力や表現力、創造力の育成
- ・Society5.0の実現を意識した授業づくり

主体的・対話的な学び

3つの視点

タブレット端末 1人1台

個を活かす

インクルーシブ教育



Future

これから

- ・教員同士のコミュニケーションが増えることで、ユニークな授業が増える。
- ・本校が教員研修の場としての役割を大きく広げる。
- ・研修が充実することで、教師の力量が上がり、生徒との関わりがより丁寧になるとともに、じっくりと生徒が豊かな学びに向かうことができる。
- ・良き市民としての素地が育つ。

研修を企画するためのPAHモデル

Problem 問題の発見

まずは、何が問題なのか、課題なのかを見極めます。

Achievement 成果の想像

取り組みを通して、どんなことができていけば良いのか？

How 方法の設定

具体的にどんな手立てを立てるのでしょうか？

参加者にとって学べる研修をどのように企画しますか？

こちらからダウンロードしていただけます。



- ・すべての生徒がともに学ぶための環境づくりの教師の工夫

